

アグリ ワーク ポイント WORK POINT



果樹林産センター 鈴木 大造

樹上選果

樹上選果では、病害虫被害果やキズ果、粗皮果等の外観不良果と規格外の大きさの果実を摘果します。天成り果等の果梗枝が太い果実は、秋芽が発生しないよう果梗枝ごとハサミで間引きます。樹上選果でこれらの商品価値の低い果実をできるだけ摘果し、収穫や家庭選果の労力軽減を図りましょう。

秋肥

秋肥は、果実生産により弱った樹の樹勢の回復、耐寒性の向上、翌春の着花量や発芽量を確保することを目的に施用します。

10月下旬 早生

粒状固形26号 80kg/10a

11月上旬 青島

一般土壌 粒状固形248 60kg/10a

台風対策で耕土の浅い園地 柑配6号 80kg/10a

浮皮軽減対策

浮皮軽減対策としてクレントの散布をお願いします。クレントは、炭酸カルシウムを主成分とした浮皮軽減剤で、微粒の炭酸カルシウムが果実表面に薄く付着し、降雨や朝露により果実に付着した水分の乾燥を促進します。

10月下旬の着色初期と11月上旬の4〜5分着色期

クレント 1000倍 2回

病害虫防除

10月に入っても高温多雨の日が続く場合は、黒点病の防除が必要です。ただし、収穫前30日の使用になるので、農薬の適正使用基準に注意しましょう。

また、秋期のミカンハダニとカメムシによる被害は、果実品質を著しく低下させます。園内をよく観察し、着色期前でも確認したら、早期に防除しましょう。

10月上旬 黒点病

ペンコゼブ水和剤 600倍 30日〜4回

10月中旬 ミカンハダニ

コロマイト水和剤 2000倍 7日〜2回

10月下旬 カメムシ・ミドリヒメヨコバイ

ロディー乳剤 2000倍 7日〜4回

降雨が多い場合は、褐色腐敗病

ストロビーDF 2000倍 14日〜3回